

女性に対する暴力撤廃国際デー



2022年 11月28日(月)

12:00~12:30 衆議院第2議員会館前

リレートーク みんなで声をあげよう!

アピールグッズを持って集まろう!

2022年はオレンジ色

女性に対する暴力は自然に生まれたものではなく、家父長制・資本主義・ファシズムの産物です。
(国際民婦連ポスター)



ジェンダーに基づく暴力撤廃に向けた国際キャンペーンが、11月25日の女性に対する暴力撤廃国際デーから12月10日の世界人権デーまで世界各地で展開されます。今年のテーマは「世界をオレンジ色に：今すぐ女性に対する暴力を終わらせよう！」。

イランでは、ヒジャブ（スカーフ）の着用が不適切とされた女性が殺されたことに対する女性や市民の抗議デモが広がり、世界各国から政府の弾圧に対する抗議や連帯の声が寄せられています。

日本はジェンダー格差が146カ国中116位というジェンダー平等停滞国。「性暴力を許さない」と声を上げるフラワーデモは、静かに、しかし力強く、全国47都道府県に広がり続けています。

#Me too、 #With you の声を、今日、ここからもあげていきましょう。

性犯罪をめぐる刑法改正案を検討してきた法制審議会が10月に公表した試案では、「暴行・脅迫」「抗拒不能」に代わって「拒絶困難」の要件が設けられ、「不同意性交罪」は見送られています。

「同意のない性交は犯罪」という、被害当事者や支援者の要望が十分に反映される改正を求めていきましょう。